

6月8日の日経新聞夕刊にカネカの3年間の中期経営計画に関する記事が掲載されました。

(要約)

- ・説明会は6月1日に開催され、藤井社長が中期経営計画を説明しました。
- ・中期経営計画は2026年度から2028年度までの3年間の計画です。
- ・計画では売上高9300億円(2026年3月期比15%増)、営業利益680億円(同2倍)、自己資本利益率10%(2026年3月期6.4%)、株価純資産倍率1倍(同0.58倍)、連結配当性向40%以上(2026年3月期比8%増)を目指すとしています。
- ・成長のけん引役は医療器事業で、医療用カテーテルなどとともに消化器向け医療器材の売り上げ拡大を目指します。同分野では2025年にイスラエルの医療機器メーカーを買収し、昨年は日本ゼオンの事業を買収しています。又、バイオ医薬品分野でのM&Aも検討します。
- ・戦略投資は3000億円を計画しており、2026年度内に乳製品やポリイミドフィルム、かつら用繊維の設備増強を決定する予定です。
- ・また次世代技術のペロブスカイト太陽電池の開発を進め、2027年に実証製造設備を稼働させ、2028年度の販売開始を目指します。

\*かなり意欲的な計画です。達成に向けて全社一丸となって頑張ってもらいたいものです。